

## のびのびキッズルーム 「親子で運動遊び」

 2.12  
fri

小郡市子育て支援センター(大崎保育所内)は、子ども同士のふれあいや、親同士の繋がりを目的に、さまざまなイベントを開催しています。

この日は、就園前の親子を対象に、運動遊びを開催。新聞紙を使った遊びや、障害物を並べたコースをまわるサーキット遊びを行いました。体をいっぱい動かして、全力で楽しむ子どもたちに、保護者からは「家ではできない遊びができてありがたい」「コロナ禍でも開催してくれて助かる」などの声が聞かれました。

★イベントは、感染症対策を講じて開催しています。詳しくは市ホームページ(ホーム▶子育て・教育▶遊ぶ▶小郡市子育て支援センター)まで



## 英語スピーチコンテストで 優秀賞を受賞

 1.21  
thu

はるやまかなえ

市内在住の春山夏菜絵さん(筑陽学園中3年)が、全国ジュニア英語スピーチコンテスト・オリジナル英作文部門で優秀賞を受賞し、市長に報告しました。

春山さんは、2歳の時から英語を始め、小学6年生で英検2級(高校卒業程度)を取得。普段は字幕なしの洋画を観て勉強しています。

コンテストに向けて、より伝わりやすい表現方法を学び、「手ごたえがあった」と春山さん。1,500人の予選を突破した本選では、SNS上での誹謗中傷をテーマに、「発信する前に、『相手が自分の身近な人だとしたら』と想像することで、世界をよりよくできる」と発表しました。



## 青少年アンビシャス運動で活躍する2団体・1個人が受賞

 2.16  
tue

2月16日、子どもの体験活動や居場所づくりを目的に活動する団体「くろつちアンビシャス広場」「アンビネット小郡市地域連携協議会」と中間敏久さん(のぞみ・いきいきアンビシャス広場)が、長年にわたり青少年育成に貢献したとして、福岡県青少年アンビシャス運動推進本部から表彰を受けました。

各団体は、コロナ禍で活動が制約される中でも、「子どもたちのためにできることを」と、感染症対策を講じつつ、創意工夫を凝らしながら、地域で連携・協力して活動を続けてきました。

同日、市長に受賞を報告した皆さん。受賞について「広場にかかわる地域の皆さんのおかげ」と感謝しながら、「これからも、子どもたちの居場所づくりや、ひとりでも多く夢を持てるような活動を続けていきたい」と思いを新たにしました。



### くろつちアンビシャス広場

 やまさきよしこ  
(代表: 山崎嘉子さん)

自由遊びや体験活動を軸に、地域での子どもたちの居場所づくりを実施。また、読書団体や地域のボランティアを体験活動の指導者として招き、多世代間の交流も図っています。

### アンビネット小郡市地域連携

 あらかわひでき  
協議会(代表: 荒川秀毅さん)

アンビ広場や読書団体、児童劇団、高等学校などの17団体で構成。情報交換や体験型イベント「Let's Go! アンビフェスタ」などを通して、団体の連携強化やスキルアップを図っています。

なかましひさ

### 中間敏久さん(のぞみ・いきいきアンビシャス広場)

のぞみ・いきいきアンビシャス広場での芋苗植え・芋ほりの指導を始め、中学生による「鉄板部」の焼きそばづくり指導など、地域の子どもたちに寄り添って活動しています。